

## ◆平成 27 年度 支部活動報告

### 【ご報告】 11/21(土) 神奈川県支部

「秋の何でもしゃべろう会～野田キャンパスとお醤油工場見学会バスツアー」を開催しました。

○開催日 平成 27 年 11 月 21 日 (土)

○開催場所 東京理科大学 野田キャンパス キッコーマン野田工場

○参加人数 50 名

○内容

- (1) 7:15 集合横浜駅西口
- (2) 7:30 出発
- (3) 10:30 キッコーマン野田工場見学
- (4) 12:00 昼食
- (5) 13:00 野田キャンパス(光触媒国際研究センター)見学
- (6) 16:30 出発(～横浜駅解散)

○報告

晴天の秋の日、野田キャンパス理大祭に合わせ、野田キャンパスと光触媒国際研究センターの見学、さらにしょうゆ工場の見学と盛りだくさんのバスツアーを行いました。3連休の初日で、交通渋滞が予想されたため、集合時間が7時15分と早めの時間となりましたが、予定通りの時間に到着することができました。

バスの中では、マイクをまわして全員が自己紹介を行いました。野田キャンパスツアーに参加した動機や、お子様の様子、通学・下宿についてなどお話しいただき、共感するとともに、ツアーの一体感が生まれました。また、これから行く野田についてのクイズ大会を開催。野田豆知識を吸収して、準備万端で野田市に向かいました。



お醤油工場に到着すると、見慣れたお醤油のロゴを付けた大きなタンクが出迎えてくれました。2グループに分かれて、「もの知りしょうゆ館」の見学コースを一周し、お醤油の製造過程を学びました。この工場でお醤油は、蒸した大豆と麴を混ぜた「もろみ」を、大きなタンクで数カ月発酵熟成させたのち、布の袋に入れてじっくりプレスして搾っていました。



見学の最後には、お土産にお醤油などをいただき、また、売店で珍しいお醤油や、おせんべい、醤油カステラを買い、しょうゆアイスを食べたりして、大満足の工場見学でした。

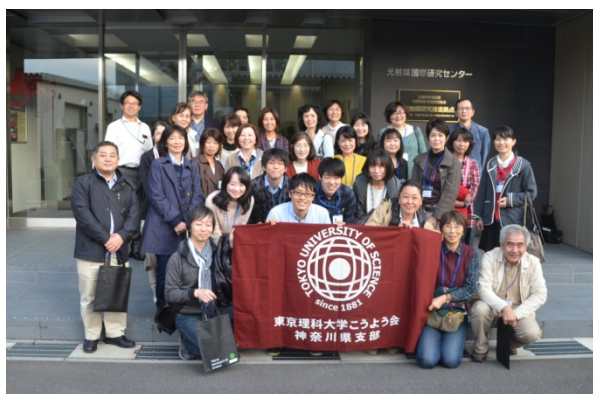
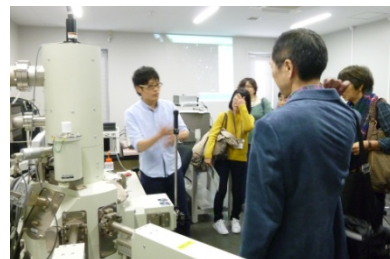
工場の一角で、おいしいお弁当をみんなであげ、バスに乗り込み野田キャンパスへと移動しました。

理大祭が開催中の野田キャンパスは、広々とした中に、大階段のようなモダンな建物があり、よく見ると大量の自転車が整然と並んでいたりして、のびのびとした雰囲気伝わってくるキャンパスでした。

まず、講堂で寺島千晶准教授より、光触媒とは何か、光触媒国際研究センターについてのご講演をいただき、その後、光触媒国際研究センターを見学しました。光触媒とは、酸化チタンと光によって物質が分解するという、藤嶋学長の長年のご研究です。



光触媒国際研究センターでは、4班に分かれ、同センターで研究中の大学院生に引率、解説していただきながら見学しました。研究の内容や施設・設備について、わかりやすく教えていただきました。光触媒の研究は、特に「浄化」の分野で注目されており、実用化され、製品として既に身近に利用されていて、更に大きな可能性をもっていることがわかりました。



解説していただいた大学院生の、真面目に研究に取り組んでいる様子が、好印象でした。寺島准教授、センターの学生さん、ありがとうございました。

理大祭の野田キャンパスは、時間とともにだんだん学生の数が増えていき、活気にあふれていました。プラネタリウム、フリーマーケットのほか、テントが並ぶエリアでは、つきたて餅、玉こんにゃく、仮装ゆるい踊り付きおでんなど、どれも楽しく、中庭では女装コンテストを見ることができました。



日も暮れるころ、バスに集合し野田キャンパスを後にしました。盛りだくさんの日帰り野田の旅となりましたが、帰りのバスでは参加者の皆さんから感想をいただき、役員一同、充実した一日になったと実感できました。